

取扱説明書（セットアップガイド）

マイクロサーバシリーズ「サバ太郎」

1 BIOS

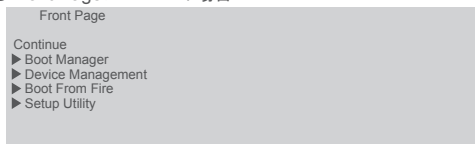
1. BIOSメニューについて

- ①BIOSメニューに入るためには、サーバ本体の電源を入れた後、キーボードの「ESC（エスケープ）」キーを押します。
- ②Front Pageメニュー（あるいはアイコンメニュー）が表示されますので、キーボードの矢印キーで操作して選択してください。
※起動の早いSSDやOSの使用時は、タイミングが間に合わない場合がありますので、再度操作してください。

●主な操作キー

F1	HELPメニュー	Enter	選択の決定またはサブメニューに入る
↑、↓	項目の選択	ESC	メニューの終了

●Front Pageメニューの場合



2. セットアップメニュー

- ①セットアップに入るためには、メニュータイプによって操作が異なります。
 - ・Front Pageメニュー： 「Setup Utility」を選択してください。
 - ・アイコンメニュー： 「SCU」を選択してください。
 ※セットアップの設定値によっては、動作や操作不良を引き起こす場合があります。ご注意ください。

●変更に必要な操作キー

F1	HELPメニュー	↑、↓	項目の選択
F5/F6	選択可能な設定値を変える	←、→	画面(タブ)の移動
F9	セットアップデフォルトのロード	Enter	選択の決定またはサブメニューに入る
F10	設定を保存しメニューを終了	ESC	(開いている)メニューの終了

●メインメニュー

InsydeH2O Version	PNC-xxx-x.x.xx.xx.xxx
Project Name	PNC-xxx-x-xx x64
Build Date	xx/xx/xxxx
Build Time	xx:xx:xx
Processor Type	Intel (R) xxxxxxxx CPU xxxxx @ x.xxGHz
System Bus Speed	xx MHz
System Memory Speed	xxxx MHz
System Time	[02:01:59]
System Date	[01/25/2014]
System Time :	時間の設定は、HH : MM : SS として入力
System Date :	日付の設定は、MM/DD/YYYY として入力

●メニューの終了

設定の保存か破棄を選択します。
矢印上下キー(「↑」「↓」)で選択し、終了してください。

- ・Exit Saving Changes: 全項目の設定値を保存し、その後再起動
- ・Save Change Without Exit: 再起動せずに全項目の設定値を保存する
- ・Exit Discarding Changes: 今回設定した値を破棄し、その後再起動
- ・Load Optimal Defaults: 初期状態に設定する
- ・Load Custom Defaults: CMOSの設定値を保存してセットアップを終了、再起動
- ・Save Custom Defaults: 現在の設定内容をカスタムデフォルト設定値として保存
- ・Discard Changes: 今回設定した値を破棄

3. ブートデバイスメニュー

- ①ブートさせたいデバイスを選択するためには、Front Pageメニュー（あるいはアイコンメニュー）の中から「Boot Manager」を選択してください。
- ②ブート可能なデバイスが一覧で表示されますので、矢印上下キー(「↑」「↓」)でデバイスを選択し、「Enter」キーで決定します。

2 OSインストール

インストールメディアから新規インストールする場合

USB機器およびインストールメディアがブータブル用に対応していれば、USBを利用してOSのインストールが可能です。

1.準備

以下の機器を別途用意しサーバ本体に接続してください。

- ①インストールメディア(CD/DVD/USBメモリ)
- ②ディスプレイモニター
- ③USBキーボード/マウス
- ④USB-CD/DVD-ROMドライブ(ブータブル対応)
- ⑤USBハブ(USBポートが不足する場合)

- ※USB機器はメーカー機種によって動作しないものもあります。
- ※消費電力の大きいUSB機器はバスパワーで動作しない場合もありますので、外部電源での使用を推奨します。
- ※オンボードSSD:16GB搭載製品の場合、Windows 64Bit版では仕様要件を満たしていません。
- 32Bit版でもインストール可能な場合がありますが、空き領域が少なくなります。
- ※Linuxをインストールする場合、Kernel3.10以降の比較的新しいカーネルをご使用ください。
- 但し、最新カーネルを搭載してもディストリビューションによっては、動作しない場合もあります。

2.ブートデバイスの起動

- ①サーバ本体の電源を入れ、BIOSの起動時にキーボードの「ESC（エスケープ）」を押した後、画面に表示されるFront Pageメニュー（あるいはアイコンメニュー）の中から「Boot Manager」を選択してください。ブート可能なデバイスが一覧で表示されます。
- ②矢印上下キー(「↑」「↓」)で、ブートさせたいデバイスを選択し、「Enter」キーで決定します。
- ③インストールディスクの起動に成功したら、インストールが開始されますので、OS付属のマニュアルなどに従って操作してください。

3 ドライバ

以下のWEBサイトからWindowsおよびLinuxドライバの最新版をダウンロードできます。

- インテルダウンロード・センター (<https://downloadcenter.intel.com/>)

1.「Search downloads」(ダウンロードの検索)を使用する場合

- ①「Product name or keyword」(製品名またはキーワード)欄で各デバイスに応じたキーワードを入力し、「検索」ボタンを押します。
 - ・チップセット： Intel Chipset Device Software
 - ・グラフィック： Intel HD Graphics Driver for Windows
 - ・イーサネット： Intel Ethernet Controller i211 (Windows) ・ Intel Ethernet Controller i210/211 (Linux)
 - ・その他、I/OやTXEなどが不明なデバイスとして表示される場合がありますが、ドライバをインストールしなくても動作上の問題はありません。もしインストールする場合は、TXEやNUCなどで検索してください。
 ※上記インテルサイトに関しては2016年1月時点の情報であり、時期によって検索方法が変更される場合があります。

2.ドライバのインストール

- ①各ドライバのインストール方法は、ダウンロードしたドライバに添付されている(もしくは別ファイルでダウンロード可能な)説明書に記載されていますので、そちらをご参照ください。

4 商標

1.商標について

- ・Intel、インテル、Atom、Core、ならびにその組み合わせはIntel Corp.の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、ならびにその組み合わせはマイクロソフト社の登録商標です。
- ・LinuxはLinus Torvalds氏の登録商標です。
- ・その他記載されている社名および製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

5 製品資料

各製品のマニュアルは、弊社ダウンロードサイトで閲覧可能です。

URL： <http://www.pinon-pc.co.jp/download/>

- ・本資料および上記サイトで公開されている情報は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。